

本巢屋井工場 2期に着工

秋田屋本店 医薬品分野 O E M 強化

今春本格稼働した本巢屋井工場



同社は本巢市屋井工業団地内の1区画(敷地面積約

老舗養蜂資材問屋で蜂産加工品など手掛ける秋田屋本店(本社岐阜市加納富士町、中村正社長、電話058・272・1221)は、年内にも本巢屋井工場の第2期工事に着手する。新工場では、O E M 相手先ブランドによる生産を中心に医薬品と高栄養食品の製造を手掛ける計画。2015年中の稼働を目指しており、今後伸長が期待できる医薬品分野を強化する。(岐阜・柴田晴日)

1万5300平方メートル)を取
得し、第1期工事として北
側の約3分の1に蜂産の生
産工場を新設。今春、本格
稼働を開始した。

第2期工事では同工場の
隣接地に新工場棟を増設す
る。新工場の敷地面積は第
1期分の約1・5倍にあた
る約2600平方メートルを計
画。医薬品のほか、ローヤ
ルゼリーやプロポリスを原
料とした高栄養食品などの
蜂産品の生産能力を増強
し、新製品や新規受注に対
応できる体制を整える。

高齢化や人口減少で国内
市場が縮小するなか、同社
は自社開発製品の拡充や新
たな用途開拓を図るために

産学連携などによる研究開
発に注力。自社の生産ノウ
ハウを生かした提案型 O E
M を強化している。

中村社長は「近年、子ど
もや高齢者でも飲みやすい
ゼリー剤に対する関心が高
まっている。ゼリー飲料な
ど粘体物の O E M 生産を長
年手掛けてきたノウハウを
生かし、ゼリー剤の開発にも
積極的に取り組みたい」と
話している。